

貸借対照表

(令和4年2月28日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	97,261	流動負債	42,784
現金及び預金	46,300	未払金	24,993
売掛金	45,945	未払費用	2,584
商品	185	未払法人税等	818
前払費用	7,447	未払消費税等	3,058
立替金	469	前受金	1,131
貸倒引当金	△3,088	預り金	1,970
固定資産	36,044	仮受金	210
有形固定資産	1,307	賞与引当金	8,017
建物	361	負債合計	42,784
工具、器具及び備品	946	純 資 産 の 部	
無形固定資産	15,627	株主資本	90,521
ソフトウェア仮勘定	15,595	資本金	20,000
商標権	31	資本剰余金	13,923
投資その他の資産	19,109	その他資本剰余金	13,923
差入保証金	2,306	利益剰余金	56,598
破産更生債権等	482	利益準備金	799
繰延税金資産	16,802	その他利益剰余金	55,798
貸倒引当金	△482	繰越利益剰余金	55,798
		純資産合計	90,521
資産合計	133,305	負債・純資産合計	133,305

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 15年

工具器具備品 5年

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

ソフトウェア 5年

商標権 10年

(3) 引当金の計上額

貸倒引当金

債権等の貸倒れによる損失に備えるため一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案して回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対する賞与支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。